

広報 ひろば **たいせつ**

8月号目次

『田んぼアート』見頃を迎える②③

たいせつなここがポイント(水稲・畑作編)④⑤

たいせつHOTニュース⑥⑦⑧⑨

お米ジェラート販売開始!

田んぼの生き物調査会 開催

女性部研修旅行

フレッシュミズ親睦交流会

青年部 毎年恒例! 野球で交流

良質米研究会「乾田直播栽培」について学ぶ

アスパラ部会青空教室 開催

たいせつ地域で農家民泊

たいせつインフォメーション⑩⑪

農業振興課からのお知らせ

共済課からのお知らせ

理事会からのご報告、たいせつのあゆみ⑫



『田んぼアート』見頃を迎える



ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>



田んぼをキャンパスに見立て、
 稲の葉色の違いを利用して絵を描く「田んぼアート」が見頃を迎えています。

6月9日に皆さんの手により植えられた稲は順調に生育し、タンチョウ、ホッキョクグマ、アザラシが色鮮やかに浮かび上がりました。

たて40m、よこ170mの水田に、北海道産米の「ほしのゆめ」や「紫稲」、「黄稲」、そして今年新たに赤色の稲を使って4色で描かれ、赤稲はタンチョウの頭とその横に描かれたガマの「穂」の部分、アザラシの口に使っており、いずれも美しく発色しています。絵の左側には、東日本大震災で被災し



田んぼアート 見頃を迎える

～農村地域の魅力を発信～

た方へ、ひとつになる。『日本』と
 応援メッセージを添えています。

平成18年からスタートした「田んぼアート」は今年で6年目。来場者も年々増え、見頃を楽しみにしている方も増えています。7月上旬には、新聞やテレビなどに大きく取り上げられたこともあり、道内各地より連日たくさんの方々が訪れ、学校が夏休みに入ると、子供を中心とした家族連れの方々が訪れ、学校が夏休みに入ると、皆さんで大変賑わっています。

田んぼアートのすぐ側には、高さ8mの見晴台が設置しており、訪れた観光客を楽しませてくれます。

見晴台の下には、農産物直売所もオープンしており、たいせつ地域の新鮮野菜の販売をはじめ、7月20日にデビューした、お米ジェラート「愛すご飯」も販売し、アイスを食べながら「田んぼアート」を眺めている光景も見受けられ、一面に広がる田園風景と静かな農村環境に触れ、農村地域の魅力を満喫されています。

「田んぼアート」は、8月下旬まで楽しむことができ、8月20日には「第3回田んぼアートフェスティバル」を開催します。



第3回 田んぼアート フェスティバル

平成23年8月20日(土) 午後2時開場
田んぼアート特設会場 (旭川市東鷹栖7線18号)



司会:市原

イベント内容

- 14:00** 鷹栖小スクールバンド演奏～オープニング～
- 14:20** 巨大押し寿司アートをつくろう！
- 14:30** ビートルズコピーバンド“ビートホープ”コンサート
熱気球係留体験
- 16:20** ○×クイズ
- 17:00** 谷本光スーパーアコースティックギターコンサート
- 17:30** もちまき
- 18:00** YOSAKOIソーラン踊り
- 18:30** お笑いステージライブ～市原～
- 19:00** 大抽選会
- 19:50** 花火大会～フィナーレ～

※ 時間は予定ですので、変更となる場合がございます
※ 熱気球は、天候により中止・中断となる場合がございます



谷本 光さん

北海道出身のアーティスト。
アコースティックギター1本で様々な楽器の音を表現、ギターの限界を超えた超絶技法を操り、TV・コンサート・レコーディングなどで多数の一流アーティストのバックギタリストを務めている。今回、田んぼアートフェスティバルで美しいメロディを奏でて頂けますので、ご期待下さい。



2010巨大押し寿司アート完成作品

巨大押し寿司アート参加者募集！

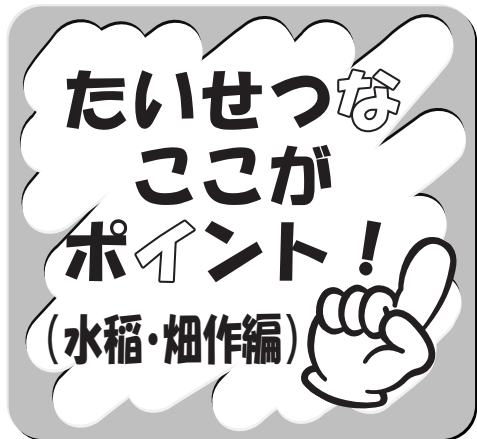
今年も親子60組によりたて72cm×よこ210cmの押し寿司を作ります。参加希望の方は、農業振興課までお申込み下さい。

JAたいせつ田んぼアート実行委員会

JAたいせつ、青年部、女性部、稲穂の里協議会、酪農振興会、畜産生産協議会、旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部、東鷹栖農民連盟、鷹栖町農民連盟、大雪土地改良区、旭川市、鷹栖町

【お問い合わせ】

JAたいせつ営農部農業振興課
TEL 0166 - 57 - 2357



水稲編

7月15日現在における稲の生育は概ね平年並みに推移しています。今後は登熟期に向けて大事な時期となりますので水稲の生育状況に応じた適切な水管理と病害虫防除に努めて、良品質米をつくりましょう。

1. 登熟期の水管理
登熟期間中の土壌水分が不足すると、登熟不良により青未熟・乳白・腹白米の増加など、収量や品質の低下を招きますので、土壌状態に応じた水管理に努めてください。

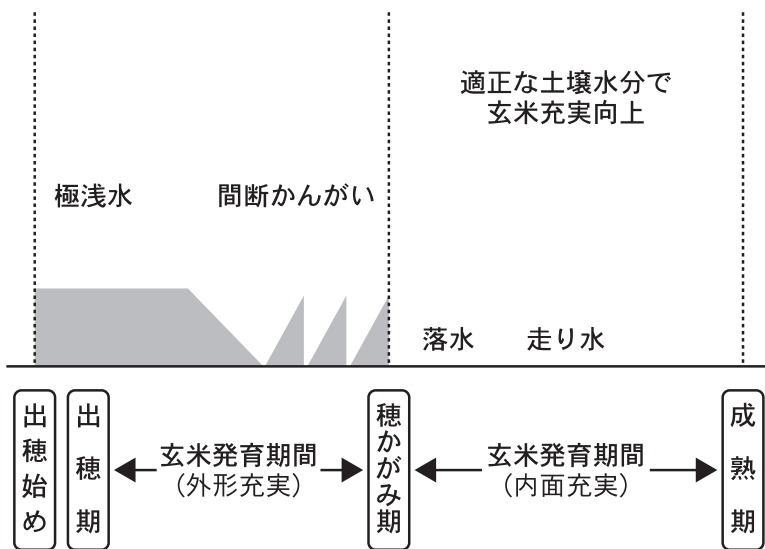


表-1 生育と適正な水管理

登熟期間の土壌水分状態が収量と品質に及ぼす影響			
土壌水分	土壌観察	及ぼす影響	
		収量	産米品質
多	表面のみ乾燥、亀裂微、明瞭に足跡が残る	-	-
↓	表面に少亀裂生成、わずかに足跡がつく		
	作土に幅1cmくらいの亀裂多数、足跡がつかない		×
少	作土に深い大亀裂が生成、水稻根の切断が観察	×	×

○:好適、▲:境界領域、×:不適 上川農試(1998~2000)

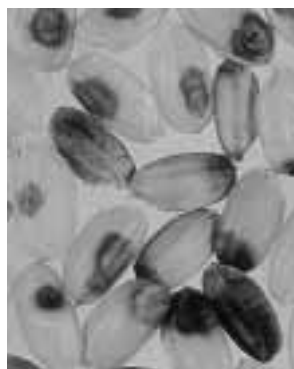


写真-2 カメムシの被害による斑点米



写真-1

(2)カメムシ
(アカヒゲホソミドリカスミカメ)
カメムシによる吸汁害は出穂後7~20日頃(乳熟~糊熟期)に最も大きくなりますので発生予防により追加防除できる準備をし、併せてえん麦・畦畔・雑草地等の環境整備にも努めましょう。(写真2)

(1) 間断灌漑の実施

出穂期以降は入水時の水深を4~5cmとし、その後水田内に水がなくなるまで入水せずに1~2日間落水状態で管理し再び入水します。このような管理を落水時期まで繰り返し行うことで、根の活力が維持されます。

(2) 落水時期

落水時期は玄米形成がほぼ完了する出穂期後25日目頃の穂

2. 病害虫防除

(1) いもち病

いもち病は糊熟期出穂後20日(まで)発生の心配があります

かがみ期以降に行うのが原則です。しかし透水性不良で乾きにくい水田では出穂期に落水して下さい。その場合は土壌の乾燥状態を見て、走り水ができるように溝切りを行っておくことが重要です。(表1、写真1)

ので、よくほ場を観察して適正防除を行いましょ。特に復元田・稲がよく出来た水田、昨年いもち病が発生した水田などでは、降雨があり蒸し暑い日が続くと発生しやすくなりますので、よくほ場を観察しましょう。

③生産履歴の記帳

平成23年7月1日よりトレーサビリティ法が施行され産地情報
の伝達が義務付けられます。
日頃からこまめに記帳し信頼性の
高い生産履歴となるよう努め
て、消費者に対し正しい情報を
伝達できるようにしましょう。

畑作編

1. 小麦

(1) 雑草処理は確実にいきましょう
連作ほ場などでは特に雑草の
発生がおおく、病害・収量・刈
取作業に大きな影響を与えます
ので、耕起前に必ず雑草処理を
徹底して下さい。(表 1)
なお、周辺の作物に薬剤が飛
散しないように注意して下さい。

(2) 秋播き小麦は9月25日頃までに
は種を終わらせましょう。(表
2)

秋播き小麦品種「きたほなみ」
は、播種が早すぎると過繁茂にな
りやすいので、適正播種量を守り
ましょう。また、播種後は、鎮圧し
て除草剤の土壌処理効果を高め
ましょう。(表 2、表 3)

2. 大豆

(1) 害虫防除

今年度は、病害虫の発生が多い
状況ですので、ほ場を良く観察
して発生初期の防除に努めま
しょう。特に大豆の主要害虫の
「マメシンクイガ」の被害が多
くなっていますので、的確に防
除を実施して下さい。

(2) 収穫の準備をしましょう

収穫作業の効率化と品質向上
のため雑草の抜き取りを行いま
しょう。また、わい化病株が見受け
られる場合も汚粒などにより品
質低下の原因となりますので、併
せて抜き取りをお願いします。

表-1 耕起前の除草剤一覧

除草剤名	使用時期	使用量 (10a 当り薬量)
ラウンドアップ マックスロード	耕起前まで	200ml~500ml
タッチダウンIQ	耕起3日以前	500ml~750ml
クサトリキング	耕起前まで	250ml~500ml

表-2 「きたほなみ」播種量

品 種	きたほなみ
播種適期	9月14~23日
播種量	7kg/10a
基肥(銘柄 008)	40kg/10a

表-3 除草剤(土壌処理)

薬剤名	使用量	対象雑草
ガレーズ乳剤	200ml/10a	1年生イネ科雑草 ・広葉雑草
ゴーゴーサン乳剤	400ml/10a	

マメシンクイガの幼虫



被害作物：だいず
被害部位：子実
発生が多い地域：成
虫の発生産卵期(8
月上旬~9月上旬)
と、だいずの開花期
が合致する栽培型の
地帯

マメシンクイガの成虫



— 農薬散布の基本技術 —

みんなで確認しあいましょう。

- ①隣に別の生産者の圃場がある場合、収穫と散布予定をよく打ち合わせる。
- ②周りに収穫直前の作物がある場合は、散布日を変更する。
- ③収穫期の近い圃場は、旗などの目印を立てて、周りの農家に知らせる。
- ④防除対象圃場に隣接したハウスがある場合は、ハウスの側面を閉めてから防除を行う。

ドリフト防止の注意事項

- ①朝夕の風のない、もしくは風の弱いときに風向きに注意して散布する。
- ②防除対象の作物にだけかかるよう注意して散布する。
- ③飛散しにくい剤型の農薬を選んで使用する。
- ④散布機の圧力と散布水量を適切に調節する。
- ⑤適切なノズルを使用する。

農薬の使用上の注意事項

- ①ラベル表示を確認し、ラベルに記載された使用方法を遵守する。
- ②前回使用した薬液が残らないよう防除器具を十分に洗浄する。
- ③農薬は整理整頓して保管し、残農薬、空容器を適正に処理する。



J Aたいせつお米ジェラート
販売開始!



新たな特産品の創造に向けて、JAたいせつ独自開発加工品がこのほど完成し商品化致しました。その名はお米ジェラート「愛すご飯(あいすごはん)」です。

米主産地の当地区において、お米を原料にした商品づくりをめざし、高級ブランド品種である「ゆめぴりか」を使用したお米をソース化(ジャム化)したものを北海道産の牛乳を原料とするアイスクリームと調和させたお米ジェラートを7月20日より販売開始致しました。

この開発には、試行錯誤を重ね1年8か月の月日を費やし、旭川食品産業支援センター、日本ルナ株式会社、株式会社長沼あいすの開発協力によって、ようやく皆様にお届け出来る運びとなり、子供からお年寄りまで愛され喜ばれる商品づくりをめざし、「愛すご飯(あいすごはん)」と命名しました。

生産者・地域住民の皆様にも、ご賞味いただきたく、たいせつ直売所(田んぼアート支店含む)くらしの店たかすにて、期間限定価格1個¥250(税込)〔定価¥315〕でご提供させていただきます。

是非、この機会にお試しいただき、米農協ならではの生産者の皆様と一体となった新たな特産品として、お客様に愛される、お米ジェラート「愛すご飯」に育てていただけますようお願い申し上げます。

ゆめぴりか「愛すご飯」商品紹介

■北海道産高級原材料を使用しています

- ◆お米には北海道を代表する高級品種「ゆめぴりか(高品位基準品)」を100%使用しています。
- ◆牛乳は北海道産を100%使用し、高級品で使用される「種別:アイスクリーム」とし、良質なジェラートに仕立てました。

■新開発お米ソース!

- ◆高級米「ゆめぴりか」の風味と風格を引き立たせるため、米をソース化(ジャム化)し、冷凍状態での硬化を防ぐとともに、十分な甘味と食感をお楽しみください。

■ふっくらお米の食感を大切に!

- ◆「ゆめぴりか」米ソースをジェラートの制作工程で攪拌調合することで粒形を残し、お米の食感が残る工夫をしました。

■絶妙な商品バランスで本格的スイーツの誕生!

- ◆真白のジェラートは北海道産牛乳・白米・雪を連想させ、味覚としては、米ソースを調和させ、米の食感を感じた後、甘味の広がりを出しています。本製品は、生乳を引き立たせるため、高級アイスによく使用される乳脂肪分8.0%以上の「種別:アイスクリーム」となるように製造しました。

田んぼの生き物調査会 開催

親子55組96名が参加

7月24日、田んぼアートの会場において、青年部主催による「田んぼの生き物調査会」が開かれました。

この取り組みは、「田んぼやそのまわりに生息する生き物たちの生態系は、田んぼでお米づくりが行われることにより成り立っており、田んぼはお米をつくるだけでなく、生き物たちの生息場所となっている」ということを伝えるために毎年行っています。

今回は、旭川市PTA連合会の皆さんにご協力頂き、旭川市の全小学校を対象に親子55組総勢96名の参加により、当日は絶好の「生き物調査日和」というほどの快晴でした。



田んぼと生き物の関係を学ぼう

講師には、全農より山崎敏彦さんを招き、はじめに出前授業として、「田んぼにはどれくらいの生き物がいるか」、「田んぼと生き物の関係」、「農家と生き物の関係」、「ごはんを食べることの意味を考えよう」といった内容のお話をし、皆さん真剣に耳を傾けていました。

その後、網と生き物を入れる容器を手に持ち、裸足で田んぼへ入りました。ゆっくりと歩きながら、網で生き物をすくい、子供も大人も泥だらけになりながらも一生懸命捕まえました。

36種類の生き物を発見

捕まえた後は、きれいな水に移し、図鑑を片手に調べ報告会を行いました。ニホンアマガエルやヤゴ、オタマジャクシなど、全部で36種類の生き物が確認できました。今回は、残念ながら田んぼの中で「エゾサンショウオ」を確認することができませんでしたが、田んぼのまわりの池で確認することができ、初めて見る生き物の様子をじっと観察していました。

最後に捕まえた生き物たちに「また会おうね」と声をかけて田んぼに返し、生き物調査会が終了しました。



JAたいせつ女性部
今年は森崎博之講演会へ参加！女性部研修旅行



7月7日、女性部員37名の参加のもと研修旅行が行われました。一行を乗せたバスは、まず宮の沢にある白い恋人パークへ向かいました。北海道士産としても有名な「白い恋人」の製造工程を見学したり、石屋製菓のお菓子をお土産に購入したりと、自由な時間を過ごしました。その後、すすきのにあるノボテル札幌というホテルにてバイキング昼食をとり、昼食後は札幌共済ホールにて『平成23年度レディースセミナー』と題し、「森崎博之のあぐり王国北海道」(HBC)等で大活躍中の演劇ユニ

ット「TEAMNACS」リーダー森崎博之さんによる講演会が行われました。会場には、全道各地から約600名のJA女性部員が集まりました。過去に取材してきた農産物をスライドショーで紹介したり、森崎さんへの質問コーナーもあり、会場内は大いに盛り上がりました。

今回は日帰りコースのみの研修旅行でしたが、天候にも恵まれ有意義な研修となったことと思います。参加された部員の皆さん、大変お疲れ様でした。



JAたいせつ青年部
毎年恒例！野球で交流

7月6日、鷹栖町総合グラウンドにおいて、夏季交流会が開かれ、毎年恒例の野球が行われました。

当日は、部員とその奥さんなど27名が参加し、2チームに分かれ、2時間30分にわたり熱戦が繰り広げられました。

熱戦の末、4対3という大接戦となり、MVPには東鷹栖支部の松木良介さんが見事選出されました。



フレッシュミズの会親睦交流会 開催
 ～小樽でキャンドル制作体験～

たいせつ地域の20～40歳代の女性の方を対象とした『フレッシュミズの会親睦交流会』が7月12日に開催され両支部合わせて13名が参加し、目的地である小樽へと出発しました。

まずは「小樽キャンドル工房」にて、ゼリーキャンドルの制作体験を行いました。クリアガラスの中に好きなガラス細工を選んで入れ、ろうを流し入れ冷やし固めたもので、皆さん楽しそうにガラス細工を選んでいました。

その後、「おたる異館」にて昼食をとり、お寿司など小樽ならではの海鮮料理を味わいました。昼食後は小樽運河周辺の街並みを自由に散策し、思う存分買い物を楽しみました。

当日は雨の予報でしたが、雨も降る事なく快晴でとても研修日となった1日でした。



アスパラ部会青空教室開催

アスパラ部会では、平成23年6月29日(水)青空教室を開催致しました。

当日はアスパラ部会員の家族を含め18名の出席を頂きました。

講習では立茎アスパラの圃場4か所を巡回し、各圃場の状況を見ながら今後の栽培管理についての講習を行いました。



J Aたいせつ良質米生産研究会視察研修『乾田直播栽培』について学ぶ

7月6日、J Aたいせつ良質米生産研究会の視察研修会が会員15名の参加により行われました。

今回は、空知農業改良普及センターの斉藤普及員に同行頂き、「乾田直播栽培」を研修の目的として、空知管内の直播圃場を現地視察しました。

岩見沢地区において直播栽培は過去から実績があり、本年は湛水・乾田合わせて約270haの作付がされており、圃場が広域であることから携帯メールを有効に活用した迅速な指導体制や営農情報の配信、また、栽培技術確立までの経験談や慣行栽培よりも大変省力で多収が可能などの他産地で取り組む貴重な情報を聞く事ができ有益な研修となりました。



白老町立虎杖中学校 たいせつ地域で農家民泊

7月6日、白老町立虎杖中学校3年生22名が修学旅行でたいせつ地域を訪れ農家民泊をしました。

虎杖中学校は、当初、東北方面への修学旅行を予定していましたが、3月11日の東日本大震災の影響により行程を道内へ変更し、当地域での農家民泊を行うことになりました。

生徒を乗せたバスは午前9時過ぎに営農センターに到着し、今回受入にご協力頂いた6戸の農家(たいせつ地区4戸、江丹別地区2戸)と対面式を行いました。生徒達は、修学旅行2日目ということもあり、少し疲れた表情に見えましたが、お世話になる農家の方と会うと、少し緊張しながらも元気よく「よろしくお願いします」と挨拶を交わし、その後、各農家の自家用車で農場へ移動し、早速農業体験をしました。



日中は、野菜の収穫、玉ねぎ畑の草取り、軟白長葱の皮むきなど各農場で様々な農作業を体験しました。大半の生徒の親は、水産関係の仕事に従事されていることから、農業に触れたことのない生徒がほとんどであり、今回、貴重な体験となりました。

夕食は、ジンギスカンを囲みいろんな話が飛び出し、あっという間の一時を過ごしました。

翌日は、朝食の後、午前8時から営農センターにて解散式を行い、受入農家の皆さんと生徒一人一人握手を交わしお別れをしました。

平成23年産米生産調整の状況内容について

(農業振興課)

本年は生産調整における、優遇措置の撤廃等の調整内容の変更に伴い、従来より地域として生産目標数量の減少となっており、水稻転作においても備蓄米の発生したため、調整の経過内容について以下のとおりご報告いたします。尚、ご不明な点がございましたら農業振興課までお問い合わせ下さい。

◇主食用米希望数量について (基礎数値)

単位：kg

認定方針作成者	主食用米生産目標数量		地区別のウエイト率	府県間調整 震災からの配分量	地域間調整 地域内からの配分量	生産調整目標数量(調整後) 配分の基礎となる生産量
	認定方針作成者分の 需要量情報					
	A	B				
JA たいせつ	東鷹栖地区	11,208,191	52.58%	36,937	9,149	11,254,277
	鷹栖地区	10,106,315	47.42%	33,233	8,232	10,147,780
計		21,314,506	100.0%	70,170	17,381	21,402,057

※府県間調整：東日本大震災の影響により作付不能となった生産数量について、特例的に全国へ配分となった。(北海道の引受数量→1,500t、当JAへは70.17t)

※地域間調整：上川管内JAより余剰数量となった生産数量が中央会を通じて配分となった。(17,381t)

上記の調整配分数量は行政からの主食用米生産目標数量(A)を基礎としてウエイト率(B)により各地区へ配分する。(実数値は調整後に追加等があったため微動しております。)

◇生産数量目標値を面積換算し主食用米面積を算出

地区名	地区単収(kg)	面積換算値(ha)	主食用米配分面積(ha)	水稻希望面積(ha)	備蓄米・加工米(ha)		
					F	G	H
東鷹栖地区	590.054	1907.330	1907.145	1985.017	77.872	43.202	34.670
鷹栖地区	585.554	1733.023	1732.854	1764.456	31.602	31.397	0.205
計		3640.353	3639.999	3749.473	109.474	74.599	34.875

※地区単収：行政からの需要量情報による単収数値。

※面積換算値：生産数量目標数量(調整後)÷地区単収=地区としての水稻作付最大可能面積値です。

※主食用米配分面積：出荷俵単位による端数修正後の面積です。

※水稻希望面積：意向調査により水稻作付生産者からの希望面積。

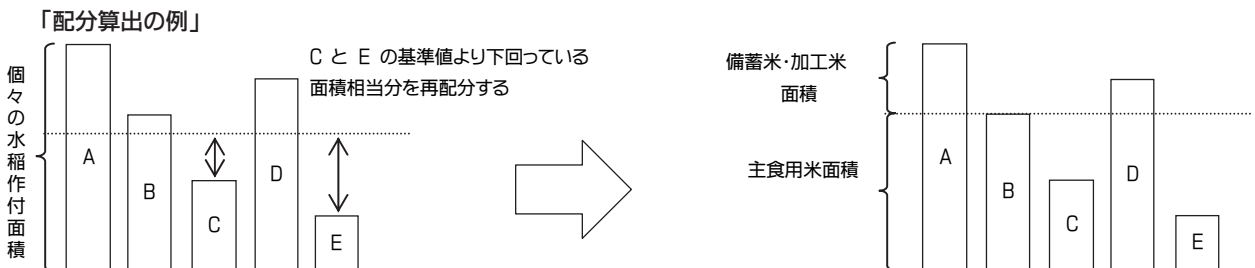
※備蓄米・加工米の配分：水稻希望面積から主食用米配分面積を差し引いて算出

・備蓄米：優先枠を確保するため2月に入札し387tを落札する。地区への配分はウエイト率によるが、鷹栖地区が満度に達したので、残を東鷹栖地区へ配分する。

・加工米の配分：水稻による転作面積から備蓄米配分面積を差し引いて算出する。(鷹栖地区の数値は備蓄米配分後に調整が発生したので追加となる)

◇各水稻生産者への配分について

地区(東鷹栖・鷹栖)ごとに、水稻作付者における個々の水稻作付率を割り出し、地区の基準値を求め、その基準値を下回る個別の面積相当分を、基準値を超過する水稻生産者へ再配分を繰り返して算出しております。



配分例の算出を繰り返して、水稻作付者において最大限 主食用米が作付けできるよう配慮しています。

◇各水稻生産者における主食用米作付率

地区名	各水稻生産者の耕地面積における主食用米作付率
東鷹栖地区	88.36%
鷹栖地区	92.65%

たいせつ

インフォメーション

共済課からのお知らせ

子ども共済

すてっぴ

JAの子ども共済に 新学資金型登場!



お子さまの 大学進学に向けた学資金形成のために!!



ポイント1

高い貯蓄性と保障がバランスよく備わっており、
お子さまの大学進学へ向けた資金形成ニーズにお応えします。

ポイント2

ご契約者(親)が所定の状態等※1になられた時は、以後の掛金は不要となります。

ポイント3

お子さまが所定の後遺障害※2となられた時は、共済金額満額が支払われます。

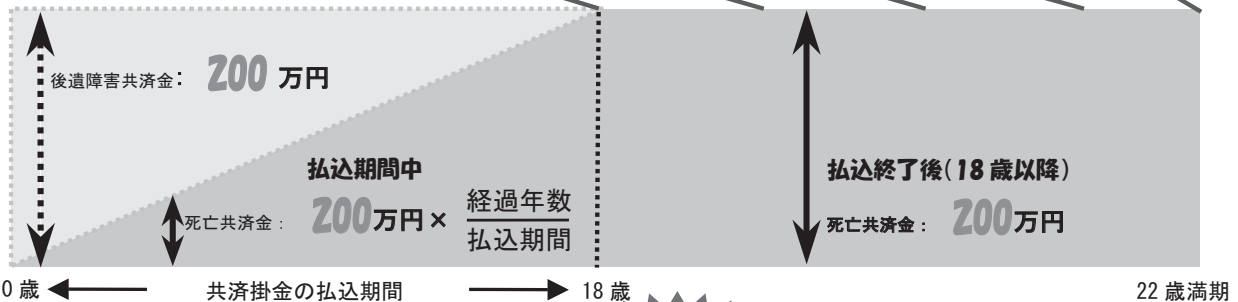
<ご契約例>

主契約 : 200万円
 払込終了・学資金支払開始 : 18歳
 払込方法 : 年払
 契約者(親) : 男性 30歳
 被共済者(お子様) :
 男性 0歳加入、22歳満期
 口座振替

年払掛金: **97,760**円

受取総額: **2,000,000**円

割り戻し金※4



払込掛金総額 **1,759,680**円

給付率
約 **113.6%**

全期前納掛金は **1,715,647**円!

給付率
 (給付総額 ÷ 払込共済掛金総額)
 上記ご契約例で、共済掛金の払込経路が口座振替扱い(年払い)の場合です。

共済掛金(年払い): 97,760円
 払込共済掛金総額: 1,759,680円
 給付総額: 2,000,000円

※1: 「所定の状態等」とは死亡・所定の第1級後遺障害・所定の重度要介護状態・災害による所定の第2級～第4級の後遺障害のいずれかに該当する場合のことで。

※2: 「所定の後遺障害」とは所定の第1級後遺障害・所定の重度要介護状態のいずれかに該当する場合のことで。

※3: 学資金、満期共済金のお受取りの時期は、お子さまの誕生日ではありません。

※4: 割り戻し金はご契約後3年目から発生し、ご契約中いつでもお引出しになれます。ただし、割り戻し金の額は年度ごとに変動し、経済情勢などによっては0となる年度もあります。

※上記掛金は平成24年3月31日まで有効です。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは

JAたいせつ 共済係

【本所】57-2311 【鷹栖支所】87-2121



【11019990063】



理事会からのご報告

平成二十三年六月二十四日第三回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、旭川市農業委員会委員・鷹栖町農業委員会委員の推薦について

旭川市農業委員会委員には山口喜松理事、鷹栖町農業委員会委員には相澤峰基理事をそれぞれ推薦いたしました。

二、鷹栖町環境審議会委員の推薦について

鷹栖町環境審議会委員に小野寺昭一理事を推薦いたしました。

三、定款第五十七条第三項による組合と理事の契約承認について
理事に対する資金貸付1件について承認されました。

四、振込手数料の変更について
視覚障がい者に対する窓口振込手数料をATM水準まで引下げることが決定されました。

五、上川生産連への出資増口につ
いて

上川生産連の出資配当金の中から、上川生産連へ五十一口二五五千円を増資することについて承認されました。

六、東鷹栖市民ふれあい祭りの協賛金の支出について
昨年同様八万円の支出について承認されました。

七、平成二十三年度コンプライアンス実施計画について
JAたいせつコンプライアンス実施計画について、重点項目を役員階層別研修会等とした提案について原案通り承認決定されました。

八、内部監査規程、個人情報保護に係る内部監査規程、個人情報取扱規程、利益相反管理規程、反社会的勢力との取引排除規程、人事規程、支所規程の一部改正について
内部監査規程、個人情報保護に係る内部監査規程、個人情報取扱規程、利益相反管理規程、反社会的勢力との取引排除規程、人事規程、支所規程の一部改正について承認決定されました。

九、米の出荷契約について

平成二十三年産米の出荷契約について、職員による生産者個別訪問を行い、三十一万俵超の出荷契約を頂きました。この契約数量を基に系統と例年同様に播種前契約・確約契約を取り入れて進めることを報告し確認されました。

「たいせつ」のあゆみ

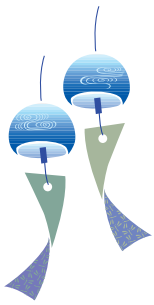
7月

7月20日 転作現地確認（鷹栖地区）

7月21日 転作現地確認（東鷹栖地区）

7月26日 第4回理事会
役員コンプライアンス研修会
職員コンプライアンス研修会

7月29日 中間棚卸



上川ライスターミナルからのお知らせ お盆期間中の休業日のご案内

日頃より上川ライスターミナル精米工場をご利用頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、精米業務につきまして、お盆期間中の休業日をお知らせ致します。

休業中、ご不便をおかけしますが、何卒、ご理解のほどよろしくお願い致します。

**お盆期間中の一般個人精米休業日
8月16日（火）**

お盆の農協業務のご案内

	8月15日(月)	8月16日(火)
一般業務 整備工場 自動車共済	休業	休業
東鷹栖給油所 鷹栖給油所	平常営業	平常営業
貯金業務	平常営業	平常営業